

平成 27 年度 燕三条ブランド強化事業

# ドイツ向け商品開発ワークショップ 参加者募集

ドイツで販売しているが思ったような成果がでない... ドイツに向けた商品開発をしたい...  
などの企業を対象に、より詳細な情報提供と具体的なアドバイスで  
「ドイツで売れる」商品の開発を目的とした少数対象の商品開発ワークショップを実施します。

## 実施方法

ドイツ在住のアドバイザーが、マーケット情報、狙うべきターゲットユーザー層、商品企画、効果的なプロモーション方法など、御社に合った5回の個別アドバイスを行います。

(株)SATOMI SUZUKI TOKYO 代表取締役社長  
Sa:Su Network GmbH 代表取締役社長

## サトミ スズキ 氏

1994年渡独。1995年より、ドイツ国際見本市の数々の現場にて、ジャパントレードフェア スペシャリストとしての経験を積み、2001年日本が欧州に進出するための国際見本市総合コンサルティング会社 (Sa:Su Network GmbH) を設立。一方で、ドイツ・ミュンヘン市の中心に、ニッポンの優れたデザインプロダクトを販売するコンセプトストア：SHU SHU CONTEMPORARY JAPANESE DESIGN をオープン。B to C ビジネスとともに B to B を展開すべく、ディストリビューターとして、他デザインストアや、ミュージアムショップ、オンラインポータルへの卸売業も行い、2014年より、ドイツ・フランクフルトの世界最大級の消費財国際見本市 ambiente (LOFT) にも出展をしている。2013年ものづくりの製作過程の原点から参画し、欧州で売れるプロダクトを創るため、MADE IN JAPAN の欧州輸出促進・販売に貢献すべく、東京都港区に(株)SATOMI SUZUKI TOKYO (Japanese Design Promotion) を設立。AKINDO in GERMANY! として、ニッポンのデザインプロダクトを欧州で販売することを使命とし、ドイツと日本を往復する精力的な日々を送っている。

### ◆平成 26 年度のワークショップ実績

大工道具製造企業の持つ鉋の技術を応用したステーションナリーを提案。  
鉛筆削り「Shin (シン)」の開発から「アンビエンテ 2015」出展までを支援。  
同企業にとって新たなマーケットの開拓となった。



「Shin (シン)」

【開催日】 6月18日(木) / 7月16日(木) / 9月3日(木) / 10月15日(木) / 11月19日(木) 計5回

【時間】 各回90分程度 (時間は調整のうえ決定いたします)

【会場】 初回は企業訪問、2回目以降は基本的に燕三条地場産業振興センターリサーチコアにて実施します。

## 参加要綱

【参加対象】 開発意欲が高い、燕市三条市の企業2社程度

【参加費用】 1社/20,000円 (税込)

【申込方法】 平成27年6月8日(月)までに、参加申込書に記入のうえ、FAXでお申込みください。

【お問合せ】 燕三条地場産業振興センター 燕三条ブランド推進室 TEL:0256-36-4123 (担当:和田・中山)



ご注意

※応募多数の場合はアドバイザー、事務局により内容を検討のうえ決定し、結果についての質問にはお答えできません。

※製品の改良、開発に対する金型等の費用は参加者の負担となります。

※アドバイザーは開発に対する助言を行います。成果の保障や販売の取り扱いを確約するものではありません。

※開発品の意匠、商標、特許等の産業財産権の取扱いは当事者間で協議するものとします。

※アドバイザー及び事務局は本事業で知り得た情報について、第三者への開示、流用等を行いません。

※本事業を経て商品化に至った場合、アドバイザー、事務局より手数料等の対価の請求は一切行いません。

※アドバイザーが販売の取り扱いを行う場合は当事者間で協議するものとし、事務局は一切関与致しません。

ドイツ向け商品開発ワークショップ参加申込書

FAX : 0256-32-5701

企業名		代表者名			
住所		TEL		FAX	
業種 製造品目		連絡先 e-mail			
参加者 (お役職)					

御社の売上ベスト3の商品（また加工品等）を教えてください。

1 :

2 :

3 :

御社の強み、得意技術等を教えてください。

本事業に期待すること、実現したいことを教えてください。

他：開発状況・ドイツでの販売、展示会出展の有無、希望するアドバイス事項等をお書き下さい。

※写真、カタログ等の資料がございましたら、電子メールでお送りください。 アドレス：t-wada@tsjiba.or.jp

※お申し込みいただいた情報はアドバイザー、事務局以外の第三者には開示しません。